

### 第3回（平成26年9月13日）「多賀城市のハザードマップを作ろう」

外国人スタッフの力を借りて、緊急避難場所や危険箇所を英語・中国語で表記しました。先の震災の際、たくさんの人々の命を救った避難ビルも忘れずにマーク。災害に対する意識を高める活動となりました。



### 第4回（平成26年10月11日）「多賀城市のハザードマップをつくろう」

今回は、前回のハザードマップ制作に引き続き、実際の有事の際に大活躍されている「多賀城駐屯地」に訪問しました。最初に、当時の震災の被害状況の写真を見せて頂き説明を貰いました。当時は、地震直後に災害救済に出るべき車両が、津波に流されてしまい、とても悔しい思いをされたそうです。

説明いただいた後は、救済活動に使用する色々な装備を見ることが出来ました。どんな物でも切れる重さ10数キログラムのカッターや、人が入ることが出来ない狭い場所を覗くファイバースコープなど直に触れる事も出来、子供達は興味津々の様子でした。最後には、前回の震災から学んだ教訓を生かし、色々と改善された内容を教えて頂きました。駐屯地には24時間体制で50人が、いつでも出動出来るようになっているとのことでした。

最後に多賀城駐屯地のみなさん、そして、バスをチャーターしていただいた小野屋さんに感謝申し上げます。

